



PTC ソフトウェア製品

Windchill、FlexPLM 及び ThingWorx Navigate 製品向けライセンス基盤文書

本書の対象範囲

本書は、PTC の製品ライフサイクル製品の各許諾製品に関するライセンス基盤及びライセンス制限を定めている。大半の場合、本書はお客様が PTC から許諾を得たソフトウェアの使用に適用される法定文書の一部を構成する（併せて「ライセンス契約」という）。本書と、お客様によるライセンス購入の根拠となった PTC の見積書／製品スケジュール（以下「見積書／製品スケジュール」という。）との間に不一致がある場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。例えば、本書ではある製品がある特定の 방법으로使用許諾されるとされている場合であっても、見積書／製品スケジュールに記載された製品名に異なる使用許諾基準が指定されている場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。PTC は随時本書を更新することができるが、お客様による各購入には、購入時点で有効な本書の最新バージョンが適用されるものとする。

共通ライセンス基盤の記述

「同時ユーザー」(CU)：各同時ユーザー製品ライセンスは、所定の時点において、1個人が使用できる。

同時ユーザー製品は、以下の場合を除き、通常の場合「フローティング」である。

- ライセンスロック：パートナンバーの末尾に「L」を含む場合には、それらの製品は、他の PTC 製品の拡張として、その製品と共にのみ使用される。ライセンスロック製品は、該当する他の製品の用許諾基準を引き継ぐものである。
- 複数インスタンス：1個人がある特定の時間において同時ユーザー製品を複数のインスタンスにおいて使用している場合、大抵は、そのインスタンスの数だけのライセンスの使用となる。例えば、一人のユーザーが2つのインスタンスで Creo Elements/Direct を起動している場合、2つのライセンスを使用していることになり、1つにはならない。

「指定コンピューター」(DC)：製品名に「fixed (固定)」「locked (ロック済)」「node-locked (ノード・ロック済)」の文字がある場合、それらの製品は、当初インストールされた指定コンピューターにおいてのみ操作が許可される。外部デバイス、ポータブルデバイス、又はリムーバブルデバイス (USB ドングル、NAS、ルーター、メモリスティック、USB ドライブ、外部ハードドライブなど) にインストールする方法又は別の方法によって、指定コンピューター製品をあるコンピューターから別のコンピューターに移動することは認められない。

「指定サーバー」(DS)：各指定サーバー製品は、お客様が当該製品の最初のインストールに関連して指定し、該当するインストール済の製品アプリケーションの特有なインスタンスが1つあるコンピューターサーバー上でのみ使用できる。コンピューターサーバーにいかなる方法であれ（物理的、論理的又はそれ以外の）パーティションが設定されている場合、前文における「コンピューターサーバー」への言及は当該サーバーの各パーティションを意味するものとし、当該指定サーバー製品は当該パーティションの1つにおいてのみ使用することができる。

「指定サーバー (CPU-中央演算装置毎)」と称される指定サーバーの変格形がある。これらの製品については、ライセンスは、1つの CPU (中央演算装置)が入ったサーバーにのみ限定される。それぞれの追加 CPU 毎に、追加ライセンスが必要となる。



「インスタンス毎」(PI)：インスタンス毎の製品については、該当製品が接続するシステムのインスタンス毎に、1つのライセンスが必要となる。例えば、インスタンス毎を原則として使用許諾されたアダプタによって Windchill が ERP システム並びに CRM システムと接続可能になる場合、当該アダプタの2つのライセンスが必要となる。

「登録ユーザー」(RU)：登録ユーザー製品は、ライセンスを使用する頻度に関係なく、一個人のみが使用できる。当該個人がライセンス製品に直接アクセスしているか中間アプリケーションを経由してアクセスしているかに拘わらず、すべての各個人に対してライセンスが必要になる。共有パスワード又はログインアカウントは、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、許可されない。お客様は、新規登録ユーザーをその都度、追加及び/又は交代させることができるが、登録ユーザーの合計数がいかなる時点においてもその特定製品における有効ライセンス数を超えてはならない。さらに、仮に、以前登録していたユーザーが登録ユーザーの状況に戻った場合、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、PTC のその時点で有効なレートに従い、PTC に新たにライセンス料を支払わなければならない。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできない。

「パッケージ」(P)：PTC 製品パッケージを構成するそれぞれのコンポーネント（構成品）の使用許諾基準は、当該コンポーネントが別々に使用許諾された場合と同じものとする。但し、それぞれのパッケージのコンポーネントがパッケージのベースシート（主要製品）と共に使用される場合を除くものとする。例えば、Creo Enterprise XE Package にバンドルされた Windchill PDMLink と Windchill ProjectLink の登録ユーザーライセンスは、登録ユーザー基準で使用許諾され、1人の Creo ユーザーとの組み合わせで割り当てられなければならない。

「バンドル」(B)：PTC の各バンドル製品は、いくつかの異なる PTC の許諾製品が含まれ、バンドルに含まれる当該各許諾製品の使用許諾基準が他の許諾製品と異なる場合がある。

複数の製品に共通するライセンス制限

サブスクリプションについて：「サブスクリプション」とは、製品名、見積書/製品スケジュール、注文契約書その他の注文書類、及び/又は請求書において規定された期間にわたり有効となるライセンスが含まれたオンプレミスのライセンスタイプであり、かかるライセンスには、当該ライセンス期間中に追加料金の発生しないサポート・サービスが含まれる。

永久ライセンス：PTCでは、ほとんどの製品に永久ライセンスモデルが存在していない。ただし、PTCが現在も永久ライセンスを販売しており、当該製品にPTCがホスティングにより提供するコンポーネント（Creo AR Design Shareなど）が含まれている場合、PTCはいつでも当該ホスティングコンポーネントの提供を中止することができる。

仮想化技術（Virtualization Technology）について：PTC が上記ライセンス方式を行使するため又は当該ライセンス方式の意図する内容を回避するために採用するライセンス制御機能を、仮想化技術によって回避することが可能な場合であっても、当該回避行為は、お客様のライセンス契約違反となる。前述を制限することなく、お客様は、仮想化技術の下で又はそれをともし



て、指定コンピューターのライセンス（又は「ノード・ロック ライセンス」ともいう）をインストール又はアクセスしてはならないものとする。

アップグレード：許諾製品の旧バージョンからのアップグレード版の許諾は、PTC により確認されたアップグレードとしての適格な旧バージョンを、最初に許諾されていなければならない。また、お客様は、関連するアップグレード版の購入時に当該許諾製品のサポート・サービスの契約が有効な状態でなければならない。アップグレード版をインストールした後は、アップグレード版として許諾された当該ソフトウェアに交換又は補完され、お客様はアップグレードを適格と認められる基となった旧バージョンを使用することはできない。

相互運用ツール／ツールキット：PTC の相互運用ツール（例えば、Pro/TOOLKIT、J-Link、Pro/Web.Link、アプリケーションプログラミング インターフェース）は、お客様（お客様自身又は第三者の支援により）が、許諾製品をお客様の他のコンピューターシステム及びプログラムとの間で相互運用できるようにする目的にのみ提供される。お客様は、その一部、全部にかかわらず当該相互運用ツールを第三者へ配布してはならない。さらに、当該相互運用ツールを使い、第三者へ配布するための新たな統合プログラムを開発してはならない。

バッチ：ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど）の場合、ライセンスは、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス（直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問わない）をする個人ごとに必要となる。共通又は共用のログインは、認められない。

製品のインストール及び／又は使用に関する地理的制限

インストール場所に関する制限（製品名に明記されているように）「グローバル」ライセンスを除き、PTC の全ての製品は、購入した国（ライセンス契約において「指定国」と称する）においてのみインストールが許可されるように制限されている。お客様がインストール国の変更を望む場合、お客様は PTC に通知する義務を負うとともに、提案された新しいインストール国におけるライセンスの定価の方が高い場合は差額に基づいてアップリフトフィーが要求される。

ユーザー所在地に関する制限（同時ユーザー製品） 「グローバル」及び「制限付グローバル」ライセンスを除き、同時ユーザーライセンスで使用許諾されている PTC 製品は、製品がインストールされている国に物理的に所在する個人によってのみ使用可能であり、当該製品の一部として出荷されるすべてのソフトウェアのコンポーネント（例えば、クライアントコードやライセンスサーバー）は指定国のみにおいてインストールされなければならない。但し、通常はその国に居住する個人が海外に渡航する場合は、限られた期間（大半の製品に関しては 2 週間）の間そのライセンスを「借用」することができ、その期間中は当該ライセンスをお客様のネットワーク上で利用できない。お客様の従業員ではないユーザーは、お客様の拠点に物理的に所在する間に限り、使用許諾基準が同時ユーザーである PTC 製品を使用できるものとする。本段落における制限は同時ユーザー製品のみ適用され、同時ユーザーとは異なる基準で使用許諾されている製品には適用されない。

グローバルライセンス／制限付グローバルライセンス

グローバルライセンス 「グローバル」ライセンスとは、全世界に点在するお客様の所在地（複数の場合もあり）において、当該許諾製品のインストール・操作・使用を許可するものである。ライセンス契約上、許諾製品は、当初インストールを行



った国においてのみ使用が許可されるが、本グローバルライセンスは、適用可能な全ての輸出法規制を遵守することを条件とする。

制限付グローバルライセンス 「制限付グローバル」ライセンスとは、指定国及び／又はその他の許可国に点在するお客様の所在地（複数の場合もあり）において、当該許諾製品のインストール・操作・使用を許可するものである。ライセンス契約上、許諾製品は、当初インストールを行った国においてのみ使用が許可されるが、本制限付グローバルライセンスは、当該使用制約の影響を受けないライセンスである。「許可国」とは、中国、インド、ロシア、チェコ共和国、ポーランド、ハンガリー、マレーシア、南アフリカ、イスラエル、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ルーマニアを指す。

Windchill 製品及び FlexPLM 製品(1) (7) (8) (9)

許諾製品名	使用許諾基準	許諾製品名	使用許諾基準
Windchill 製品群（以下に記載する注記分を除く）	登録ユーザー	Windchill FRACAS, FMEA, FTA, Markov, Maintainability, LCCs, 及び Prediction	同時ユーザー
Windchill Enterprise Systems Integration（以下に記載する注記分を除く）	指定サーバー	Windchill FlexPLM	登録ユーザー (2)
Windchill Enterprise Systems Integration Adapters	インスタンス毎(4)	PTC's Retail IoT ADK (Application Developer Kit)	登録ユーザー (3)
Windchill Info*Engine Adapters	インスタンス毎	Windchill Platform Structures	アクティブデイリーユーザー (ADU) (6)
UDI Solution	UDI (5)	Windchill R&R ALERT, R&R AUDIT, 及び R&R PLM Integration	指定サーバー
Creo View	Creo 製品の使用許諾ドキュメントを参照		

(1) 統合 お客様がインターフェースを創作し、又は Windchill 製品の実装と PTC 製ソフトウェアでないシステムとの間でリアルタイムアクセス又は自動アクセスを可能にした場合、Windchill 製品にアクセスするすべてのユーザーについて、ThingWorx Navigate View、ThingWorx Navigate Contribute、Windchill Base、Windchill Advanced 又は Windchill Premium のライセンスを保有していなければならない。

(2) Windchill FlexPLM

FlexPLM「ライトユーザー」ライセンスは、お客様の社内において、以下の組織又は職務分野で実質的な責任を負わないユーザーにのみ割り当てることができる：システムアドミニストレーター、テクニカルデザイナー、デザイナー、繊維開発、色彩開発、フィットスペシャリスト、商品化計画、製品品質、部品外注（「ライトユーザー」）。ライトユーザーライセンスは、お客様がそのソフトウェア及びサポート・サービスについて適当なアップグレード費を負担しない限り、ライトユーザー以外の者に割り当てて（又は再度割り当てて）はならない。

FlexPLM「供給業者ライセンス」又は「キャパシティー外部ユーザーライセンス」は、お客様とその関連会社に関わる外部の売主、第三者及びその他のユーザー（「外部ユーザー」）にのみ割り当てることができる。外部ユーザーライセンスは、1 歴月におい



て 1 つの外部ユーザーライセンスにつき 1 名の外部ユーザーのみの使用を条件とし、追加料金なくして他の外部ユーザーに再度割り当てることができる。

FlexPLM の登録ユーザーは役割ベースのある特定のアプリケーション（例えば FlexPLM TechPack Access App）を使用する権利も得る。これらのアプリケーションは、FlexPLM の登録ユーザーが使用する場合に限定され、以下の目的にのみ使用することができる。

1. PTC が販売し、役割ベースのアプリケーションにバンドルされたコンポーネントとともに引き渡されたソリューションから情報をビュー（確認）及び印刷するためにアプリケーションを実行すること
2. 役割ベースのアプリケーションに適用がある場合で、FlexPLM のデータにアクセスすること及び役割ベースのアプリケーションに要求される詳細を設定することのみを目的として ThingWorx サーバーをインストールすること

お客様が実運用している FlexPLM システムと外部ソフトウェアとの間の統合を作成し（又は第三者に作成させ）、又は実運用している FlexPLM システムと外部ソフトウェアとの間でのデータの受け渡しを可能にした場合、お客様は ThingWorx Retail Connector (SPN-2253-F) を購入しなければならない。ThingWorx Retail Connector (SPN-2253-F) は、FlexPLM を 1 つ（1 つだけ）の外部ソフトウェアのシステムに統合することができ、1 つの外部ソフトウェアのシステム及び FlexPLM の統合を可能にするためだけを目的として、ThingWorx OEM Embedded License for Apps (SPN-56283-F) をインストールする権利も含まれる。前述以外の ThingWorx の使用法は許可されていない。TRC Additional System Connection (SPN-2254-F) は、上記で定義した SPN-2253-F のライセンスにより追加された外部ソフトウェアのシステムの数を超えて、FlexPLM をもう 1 つの外部ソフトウェアのシステムと統合するために ThingWorx Retail Connector の使用を許可する。SPN-2253-F のライセンスを一度取得した後に取得できる SPN-2254-F のライセンス数に制限はない。

他にも、消費財産業向けの FlexPLM 製品があるが、各製品で使用可能な機能は以下のとおり制限されている。

<p>FlexPLM for Consumer Products – Line Management</p> <p>この製品は、取扱品目プランの管理及び他の部門へのプランの伝達を可能にすることにより、マーケティング及び製品管理ユーザーの役割と、デザイン部門や開発部門、技術部門とのコラボレーションを可能にする。この製品で使用できる機能は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プラン及びプレースホルダーの管理 • カラー、フィニッシュ及びパレットの管理 • 商品及び SKU の作成及び管理 • イメージ管理 	<p>FlexPLM for Consumer Products – Product Spec Management</p> <p>この製品は、デザイン部門や開発部門、技術部門が製品仕様に関する情報を管理することを可能にする。この製品で使用できる機能は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CAD 及び Windchill の部品の、製品への関連付け • マテリアルの定義及び管理 • サプライヤの管理 • BOM 及びパッケージ、ラベル 	<p>FlexPLM for Consumer Products – Sourcing and Costing Management</p> <p>この製品は、供給業者を完成品の製造者として割り当て、費用やマージンの分析のために完成品にかかる費用を抽出することを可能にする。この製品で使用できる機能は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 製品調達 • 製品原価計算（RFQ 及び commitment 管理を含む） • 製品テスト • 供給業者のスコアカード
---	---	---



<ul style="list-style-type: none">• ラインボードの作成• シーズン及びプログラムの管理• カレンダーの管理	を含めた仕様の管理	
---	-----------	--

(3) **ADK**. PTC の Retail IoT ADK (Application Developer Kit) 製品は、お客様が PTC の FlexPLM 製品を別のエンタープライズシステム (例えば Oracle ERP、SAP、CRM システム等) に接続するためにのみ使用することができる。Retail IoT ADK 製品は、コネクテッド製品やウェアラブル端末、生産機械及び物的資産などのデバイス及びデバイスが接続されているあらゆるエッジサーバー又はエッジサービスからのデータにアクセスするためには使用できない。また、お客様の社内にある生産施設やお客様の供給業者の生産施設に属している生産システム、生産プロセス、及び/又は生産作業に接続するために使用することはできない。

(4) **ESI**. 製品名に Enterprise Systems Integration 又は ESI を含む Windchill 製品には、ESI の 1 インスタンスが含まれる。お客様は、別途、非生産及び開発使用のためのライセンスを含めた ESI の追加インスタンスを購入することができる。

(5) **UDI ソリューション**. PTC の UDI ソリューションにはコアシステムライセンスと規制機関提出ライセンスの 2 種類がある。

- コアシステムライセンスは、UDI データの管理、複製、承認を可能にする。
- 規制機関提出ライセンスは、UDI の規制を遵守した提出、提出保留、モニタリング、監査を可能にし、特に UDI の使用に関するユーザートレーニングも含む。

各 UDI ライセンスがカバーするデバイス数は、製品名に表示されているデバイス数を上限とする。したがって、例えば上記にかかわらず、お客様が米国食品医薬品局 (FDA) に登録されている 3 万台の市販デバイスと、英国医薬品医療製品規制庁 (MHRA) に登録されている 1 万台の市販デバイスを保有している場合は、以下のようになる。

- 英国において登録された 1 万台のデバイスすべてが米国において登録されたデバイスのサブセットである場合、お客様側では 3 件の「1 万デバイス」コアシステムライセンスと 16 件の「2500 デバイス」規制機関提出ライセンスが必要となる (米国 FDA 登録デバイス用に 12 件、英国 MHRA 登録デバイス用に 4 件) (1 万台のデバイスが登録済みであると想定)。
- 重複がない場合、お客様側ではコアシステムライセンス 4 件と規制機関提出ライセンス 16 件が必要である。

「デバイス」とは、お客様が規制機関に登録し、お客様が市販している製品メイク又は製品モデルを意味する。

(6) **Windchill Platform Structures**. 「アクティブデイリーユーザー (Active Daily User)」製品は、任意の 24 時間以内に Platform Structures を作成し管理する固有のユーザーの数に基づいて使用許諾される。例えば、あるユーザーが Platform Structures のコンテンツを、月曜日に 3 回及び金曜日に 2 回作成又は変更した場合、当該ユーザーは、それぞれ月曜日及び金曜日について単一 (1 つ) のアクティブユーザーとして数えられる。基準となる 24 時間については Windchill サーバーに設定されているタイムゾーンによって定義される。

(7) **Windchill Profiles**. 様々な Windchill 製品は役割ベース (例えば、「Author」「オーサー」や「Contributor」「コントリビューター」など) である。それらの製品では、役割ごとに異なる機能を使用でき、お客様の Windchill 管理者は、お客様が購入したライセンスに対応した、正しい役割をユーザーに割り当てなければならない。



(8) Enterprise PLM Packages 及び Enterprise Add-On Applications: Enterprise PLM Add-On Applications の前提条件は以下のとおりである。

許諾製品名	前提条件
Windchill Creo Data Management and Visualization Windchill Multi-MCAD Data Management and Visualization Essentials Windchill Multi-MCAD Data Management and Visualization PTC Windchill Audit Management Windchill QMS - Document Control Windchill QMS - Med Dev Surveillance and Corrective Action	Windchill Base、Windchill Advanced 又は Windchill Premium
Windchill Service Parts Information & Instructions Windchill QMS - Medical Device Design Control PTC UDI Solution Windchill Regulatory Hub	Windchill Advanced 又は Windchill Premium
Windchill Base-to-Advanced Add-on	Windchill Base
Windchill xBOM Management	Windchill Advanced
Windchill Manufacturing Process Plans and Instructions	Windchill Advanced plus Windchill xBOM Management 又は Windchill Premium
Windchill Supplier Management	Supplier Management が導入されている場合は、Windchill システム上のすべての Windchill Advanced ユーザーに対し Supplier Management が追加されなければならない。
Windchill Part Classification	Parts Classification が導入されている場合は、Windchill システム上のすべての Windchill Base ユーザー及び Windchill Advanced ユーザーに対し Parts Classification が追加されなければならない。
Windchill Secure Collaboration	Secure Collaboration が導入されている場合は、Windchill システム上のすべての Windchill Base ユーザーに対し Secure Collaboration が追加されなければならない。
Windchill Aerospace & Defense Module	Aerospace & Defense Module が導入されている場合は、Windchill システム上のすべての Windchill Base ユーザー、Windchill Advanced ユーザー及び Windchill Premium ユーザーに対し Aerospace & Defense Module が追加されなければならない。
Windchill Platform Structures Management ADU license	Windchill Advanced 又は Windchill Premium PTC Windchill Platform Structure ADU ライセンスは、Platform Structures の機能をオーサリング及び/又は管理するすべてのユーザーが使用できるようになっていなければならない。Platform Structures の機能を表示するには、Platform Structures ライセンスは必要ない。
Windchill Smart Platforms	Windchill Advanced 又は Windchill Premium



	PTC Windchill Smart Platforms は、Smart Platforms の機能をオーサリング及び／又は管理するすべてのユーザーが使用できるようになっていなければならない。Smart Platforms の機能を表示するために、Smart Platforms のライセンスは必要ない。
--	---

(9) **Business Reporting Functionality**: 以下の使用規制は、ライセンスタイプ別に、Windchill 内の Business Reporting 機能に適用される。

- (i) Windchill の各ライセンスには、次の (a) から (c) に掲げる Business Reporting 基本機能を使用するライセンスが含まれる。(a) レポートの選択、レポートの閲覧、及び個人設定（言語、時間帯など）、(b) Windchill Business Reporting Author を使用する者によって作成されるレポートの実行及びスケジュール設定又はここに述べる使用制限に則したいずれかのレポート生成手段によって、作成されるレポートの実行及びスケジュール設定、プロンプトとの交信、PDF、CSV のような他フォーマットへのレポート出力、予定レポートの申込、レポート・フォルダ及びポータル・ページの作成及び管理、標準レポートのカスタマイズ、及び通知の受信、並びに(c) Business Insight の使用によるインタラクティブなダッシュボード（計器盤）の作成。これらのライセンスは、そのうちの一つを Business Reporting ソフトウェアの管理のために使用することができ、追加許諾内容としてお客様は、お客様の環境の下で Business Report ソフトウェア及びその構成品のセットアップ、展開、設定、及び管理ができ、Framework Manager の使用によるメタデータの定義付け及び発行をも可能にする。
- (ii) 「Windchill Business Reporting Author」のライセンスは、上記 (i) と同一の機能を許諾するものであり、さらに追加機能としてお客様は、特定数の登録ユーザーに、Business Insight Advanced、Query Studio 及び Report Studio のモジュール及び機能を使用させること、並びに Framework Manager を使用してメタデータを作成させることができる。
- (iii) 「Windchill Business Reporting Monitor」ライセンスは、お客様が特定数の登録ユーザーに Event Studio モジュールの使用を許可することができるライセンスである。

お客様は、各ユーザーにおいて、上記で特定する使用許諾内容以外のレポート機能が使用できないように、Business Reporting 機能を設定しなければならない。Business Reporting 機能は、PTC 製品とだけ使用することのみが認められ、それを独立して使用してはならないものとする。

THINGWORX NAVIGATE

ThingWorx Navigate View、ThingWorx Navigate Contribute、ThingWorx Connected PLM 及び ThingWorx Connected PLM View の使用許諾基準は、見積書／製品スケジュールに特定されたとおり、登録ユーザー、アクティブデیلیユーザー、又は指定コンピューターである。指定コンピューターに基づくバージョンは、お客様のシステムにアクセスできないショップフロアの従業員のみが使用することができる。

「アクティブデیلیユーザー」は、任意の 1 暦日 24 時間以内に PTC Navigate にアクセスする固有のユーザーの数に基づいて使用許諾される。例えば、あるユーザーが ThingWorx Navigate のアプリケーションに、月曜日に 3 回及び金曜日に 2 回アクセスした場合、当該ユーザーは、それぞれ月曜日及び金曜日について単一（1 つ）のアクティブユーザーとして数えられる。基準となる 24 時間については ThingWorx サーバーに設定されているタイムゾーンによって定義される。



ThingWorx Navigate を Windchill 製品とともに使用しているお客様は、Navigate ライセンスを使用する権限のあるすべてのユーザー及びグループを、関連する Windchill ライセンスと関連付けなければならない。例えば、当該ユーザーのために ThingWorx Navigate View ライセンスを購入されたすべてのユーザーは、PTC View License Profile 及び Print Only License Profile と関連付けられたグループのメンバーでなければならない。

Navigate の View ライセンスでは、以下のことがお客様に許諾される。

1. ThingWorx Navigate View アプリケーションにバンドルされるコンポーネントから得られる情報を表示すること
2. ThingWorx Navigate コンポーネントの実行を通じて表示することのみを目的として、ThingWorx サーバーをインストールすること。ThingWorx Navigate コンポーネントには、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされるガジェット、ウィジェット、形状及びテンプレートのみが含まれる。
3. 付属の ThingWorx Navigate View アプリケーションに固有の ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされている ThingWorx Navigate コンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）を設定するために、ThingWorx Composer 及び ThingWorx の管理機能を使用すること。
4. 以下の基本的な Windchill 機能に制限された表示権限のある状態で Windchill アプリケーションに直接ログインすること。
 - a. Windchill の検索エンジンを使用して、Windchill 管理の対象物を、メタデータ及び内容データ内においてキーワードで全文検索する機能
 - b. データ検索を実行し、Windchill 管理の対象物をメタデータの合致により探し出す機能
 - c. キャビネット／フォルダー内の情報分類構造から Windchill 管理の対象物を多角検索する機能
 - d. 前述の機能により検索された管理対象物を「プロパティ」ページで確認する機能。「プロパティ」ページは、Windchill 管理の対象物のメタデータプロパティを外形化し、対象物の一部としてファイル内容がある場合には、その CAD でないファイル内容をダウンロードする機能を提供する。
 - e. 対象物を印刷する機能
 - f. Creo View で表示可能物を開く機能及び 3D 表示可能物を開き測定する機能。ただし表示可能物のマークアップ機能は含まれない。

お客様は、前掲の一覧に記載のない機能を使用してはならないものとする。正確を期するため具体的に述べると、ThingWorx Navigate ライセンスは、以下の操作を実行するための権限を、これらに限定されることなくお客様に付与しない。

1. PTC により販売されているソリューションにおいて情報を作成すること
2. ThingWorx のプラットフォーム 統合機能を以下の目的に使用すること
 - a. 情報を、ある PTC ソリューションから別のシステム（ファイルシステムを含む）にエクスポートすること
 - b. PTC 以外のソリューションからの情報を取得すること（これには ThingWorx Connected PLM のライセンスが別途必要になる）
 - c. システムで情報を作成又は編集すること
 - d. ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネントが必要となるシステムとの統合環境を構築すること



3. ThingWorx プラットフォーム を使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているものに加えてコンポーネント（ガジェット、ウィジェット、形状又はテンプレート）を新規作成すること
4. ThingWorx プラットフォームを使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）が含まれるアプリケーションを新規作成すること
5. ThingWorx に対して、又は PTC が販売しているソリューションと通信するために ThingWorx Navigate アプリケーションによって使用される PTC Solution Extension レイヤーに対して直接アクセスすること
6. 物的 Asset（資産）（例えば、物理デバイス、装置、及び製品）から直接的又は間接的に情報を取得及び／又は物的資産を制御するアプリケーションを作成するために、ThingWorx Platform を使用すること。物的 Asset（資産）に接続するアプリケーションの開発には、ThingWorx Platform のライセンスが別途必要である。
7. 以下の Windchill 機能を使用すること
 - a. ワークフロー及びライフサイクル作業の項目に参加する機能
 - b. コンテンツファイルをアップロードする又はメタデータをどのような形であれ変更する機能
 - c. データを作成又は変更する機能

ThingWorx Navigate Contribute

ThingWorx Navigate – Contribute ライセンスは、ThingWorx Navigate View ライセンスに含まれるすべての機能及び Windchill Contribute License Profile に公開されたすべての機能をサポートする。

ThingWorx Connected PLM

このライセンスのユーザーは、カスタムアプリケーションを作成するために、並びに、PTC 及び第三者製エンタープライズシステムに接続し、接続されたシステムの情報を閲覧若しくは作成及び更新するために ThingWorx Composer 及び ThingWorx Mashup Builder を使用することができる。カスタムビューアプリケーションの各ユーザーは、カスタムビューアプリケーションに公開されるシステムからのコンテンツに対する表示、作成及び更新権限が必要になる。例えば、Windchill に接続するカスタム Navigate アプリケーションを使用する各ユーザーは、カスタムアプリケーションの機能に応じて、ThingWorx Navigate View 又は ThingWorx Navigate Contribute ライセンス（若しくは Windchill 又は Integrity ベースのライセンス）に加えてこの ThingWorx Navigate Author Application Development Kit (ADK)ライセンスを保有していなければならない。

ThingWorx Connected PLM ライセンスは、エンタープライズシステム（例えば Oracle ERP、SAP、CRM システムなど）に接続するため及び PTC の Windchill 又は Integrity 製品に接続するためのみに使用できる。いずれもコネクテッド製品やウェアラブル（装着可能な）端末、生産機械及び物的資産などのデバイス及びデバイスが接続されているあらゆるエッジサーバー又はエッジサービスからのデータにアクセスするためには使用できない。また、お客様の社内にある生産施設やお客様の供給業者の生産施設に属している生産システム、生産プロセス、及び／又は生産作業に接続するために使用することはできない。ThingWorx Connected PLM は、ThingWorx サーバーのインスタンスごとに1つの Connected PLM Base を前提条件とする。